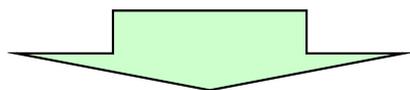


沖縄市（九州・沖縄ブロック）

【計画期間 22年3月～28年3月】 ※ 期間延長適用後

・戦後：戦前は農村地帯であったが、米軍進駐後、嘉手納基地建設とともに門前町として商業地区が発達。国際色豊かな街並み、コザ文化と呼ばれる独自の文化を醸成。

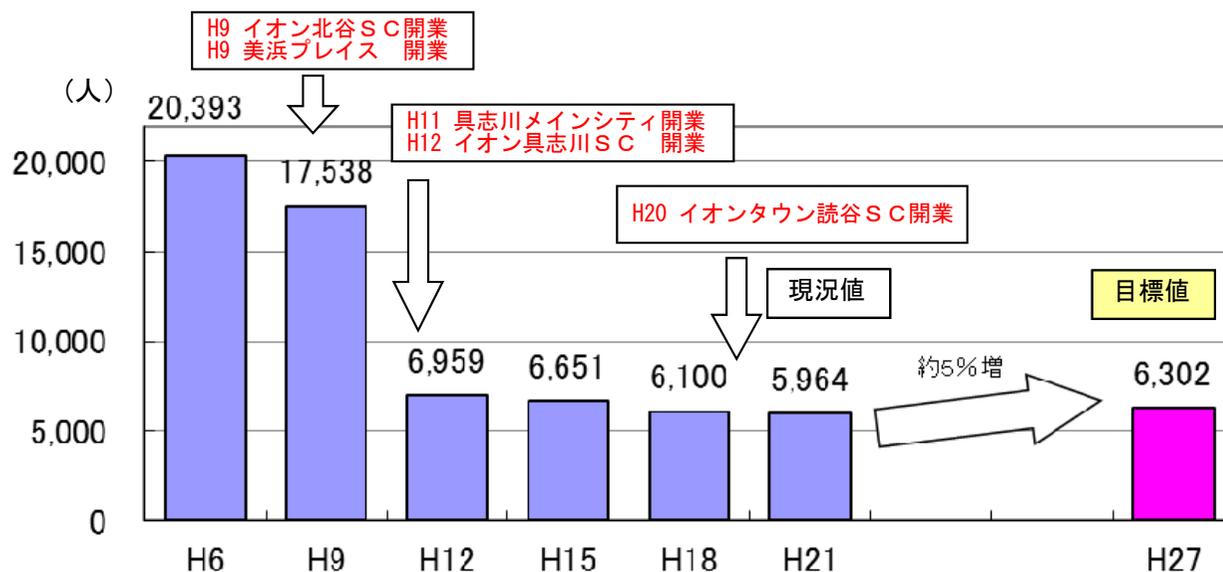
- 郊外部・近隣自治体において多数の大規模商業施設が立地し、中心市街地の賑わいが喪失。
- 住みたい街として全市の人口は増加している半面、中心市街地では減少。
- 平成27年に予定される新たな大規模商業施設の立地が脅威。



- 歩行者通行量（休日）
H 6: 20,393人 → H21: 5,964人 (▲71%)
- 居住人口
H11: 23,253人 → H21: 21,748人 (▲6.5%)

目標	指標	現況値 (H21)	目標値 (H27)
コザ文化を基軸としたまちなか交流の促進によるにぎわいの創造	歩行者通行量(休日)	5,964人/日	6,302人/日
中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福利施設利用者数	907千人/年	1,021千人/年

【歩行者通行量（休日・8地点）の動向と数値目標】



- コザ文化を象徴する音楽に着目した取組とともに、既存施設の活用や新たな施設整備により、交流街としての中心市街地を目指す。
⇒ 主要事業: ①ミュージックタウン音市場事業等、②胡屋地区リノベーション事業、③山里地区市街地再開発事業 など
- スポーツが盛ん・年少人口比率が高いという特性や市民意向に沿った施設整備など、生活をサポートする機能の強化により、中心市街地の付加価値向上を図る。
⇒ 主要事業: ④コリンザ再生事業、⑤コザ運動公園整備事業、⑥社会福祉センター整備事業 など

沖縄市中心市街地活性化基本計画の事業概要

コザ文化を基軸としたまちなか交流の促進によるにぎわいの創造

中心市街地区域：237.5ha



○ミュージックタウン音市場事業等 (①)

(1)エイサーや琉球舞踊等による**新機軸の創作エンターテインメントショーの興行**、(2)広報等の**情報発信機能の強化**、(3)観客に対する**割引付チケットの配布による商店街への誘客**など、基幹施設である「コザ・ミュージックタウン」をフル活用し、まちなかへの集客力を強化。

○胡屋地区リノベーション事業 (②)

3箇所の空きビルをリノベーションし、若者向け雑貨等の**商業機能**、**インキュベーション機能**、**交流機能**などを備えた**複合施設**として再生。

○音の回廊整備事業・中心市街地循環バス事業

胡屋十字路口周辺、こどもの国、コザ運動公園を結ぶ**歩行空間**を整備。また、**中心市街地の拠点施設間を循環するバス**を運行し、回遊性、生活利便性を向上。

○山里地区市街地再開発事業 (③)

老朽化した住宅・商店を新たな拠点として再整備。基盤整備整備や土地の高度利用を行い、住宅や生活支援施設等を整備し、山里地区における賑わいを再生。

○コザ運動公園整備事業 (⑤)

野球場・体育館などのリニューアルとともに、**多目的センター**を新設。スポーツの街として市民利用を促進。



○社会福祉センター整備事業 (⑥)

社会福祉分野の研修等を行う施設として**新規に整備**。男女共同参画センターを併設し、幅広い社会活動の場を提供。



中心市街地全体としての付加価値向上による生活環境の改善

○コリンザ再生事業 (④)

家電量販店が撤退した商業ビル・コリンザの**空きフロアを改装**し、**図書館を移転・増床**。現図書館よりも大規模な既存駐車場の活用により利便性が向上。

